現行運用に対する Webex Calling / VoiceX 比較整理

詳細機能比較：既存の使い勝手をどこまで再現できるか

比較項目	Webex Calling　SaaS / UC起点	VoiceX　電話 / 現場起点
1外線着信 1台で複数番号 = 差はほぼなし	✓ ハントグループ等で対応可能（設計はSaaS寄り）	✓ **Webexと同様に対応可能** ※1ユーザで複数番号着信、代表・部署番号の収容が可能
2発信番号 部署番号固定＋切替 「使い勝手」はVoiceXが明確に優位	! 発信番号はユーザ／ロケーション単位が基本 都度切替は運用・設計で工夫が必要	★ **柔軟かつレガシーに近い操作が可能** スマホ：プレフィックス入力で切替 固定機：ワンタッチに近いスムーズな操作
3通話モニター 複数人で同時モニタ 【VoiceX】レガシービジネスホン互換の運用	× PBX的な通話モニタは標準思想外 （必要に応じてContact Center領域）	✓ ***12 + 内線番号で通話スパイ可能** ※複数人同時接続可、Webでリアルタイム確認
4パーク保留 受付・取次業務 【VoiceX】受付・取次業務で圧倒的に分かりやすい	! コールパークは可能 ただし、視覚的な把握は限定的	💡 **ランプ色で保留状態を視覚的に確認** 推奨IP電話機やスマホアプリ(BLF)で対応
5外線ch/番号 IPvoice ドコモ直 「今の構成をそのまま移す」ならVoiceX	✓ 設計可能だが、IP前提	✓ **既存IPvoice構成思想と親和性が高い** 番号数・同時接続数は自由に設計可能
6内線ピックアップ 代理応答 【VoiceX】操作感は完全にビジネスホン寄り	✓ ピックアップグループで対応	📞 ***8 で外線／内線ともにピックアップ可能** 端末のBLFキーで着信状況が一目で分かる